

区 分	人身事故件数		死者数		負傷者数	
	件数	増減数	人数	増減数	人数	増減数
愛知県	44,369	△ 1,762	213	9	55,070	△ 2,113
稲沢市	653	△ 77	9	4	799	△ 93

【愛知県の状況】

平成27年の人身事故件数は、平成26年より1,762件少ない44,369件となり、4%弱の減少となりましたが、交通事故死者数は213人(同9人増)と増加しました。依然として全国ワースト1位であり、交通事故情勢は引き続き厳しい状況にあります。

〔交通事故死亡事故の主な特徴〕

年齢層別では、高齢者(65歳以上)が122人(同1人減)、一般(25~64歳)が73人(同9人増)、若者(16~24歳)が14人(同2人減)、子ども(15歳以下)が4人(同3人増)となっており、高齢者の割合が全体の5割以上を占めています。

当事者別では、歩行者が79人(同5人減)、四輪車が52人(同8人増)、自転車が47人(同10人増)、自動二輪が22人(同2人減)、原動機付自転車が12人(同増減なし)の順に多く、歩行者、四輪車の事故が目立ちます。

【稲沢市の状況】

平成27年の人身事故件数は、平成26年より77件少ない653件、負傷者数は、平成26年より93人少ない799人となりました。交通事故死者数は、平成26年より4人多い9人でした。

〔交通事故の主な特徴〕

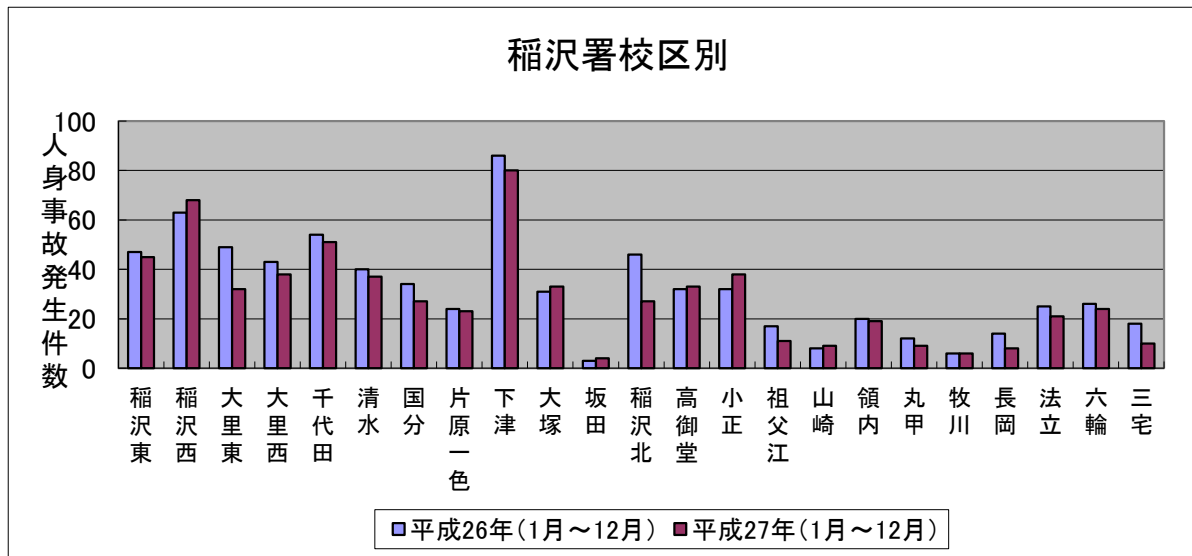
交通事故でなくなられた方9人のうち高齢者は3人で、内2人が自転車の単独事故となっています。

人身事故の類型別では、出合頭事故と追突事故で全体の約74%を占めています。

また、自動車どうしの事故が400件(同67件減)と最も多く、次いで自転車対車両の事故が146件(同3件減)となっております。

地域別では、稲沢536件(同48件減)、祖父江62件(同15件減)、平和55件(同14件減)となっております。

小学校区別では、下津、稲沢西、千代田の順で発生件数が多く、稲沢西、大塚、坂田、高御堂、小正、山崎が前年に比べ増加しています。



【事故を起さない 事故に遭わないために】

- ・運転者も歩行者も心にゆとりを持ち、交通マナーを守りましょう。
- ・交差点や交差点付近では、よそ見、見落としに十分注意し、うっかりによる交通事故を減らしましょう。
- ・全席シートベルト・チャイルドシートの着用を徹底し、スピードは控えめにしましょう。
- ・道路を横断する際は、左右をしっかり確認し、無理な横断はやめましょう。



安全・安心のまち いなざわをつくりましょう。